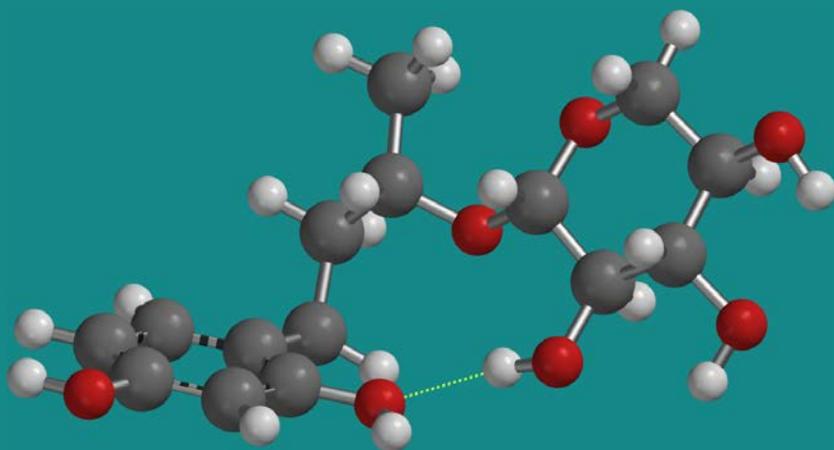


立体的に考える分子化学

—酵素反応を止める，化合物をつくらう—



日時

8月4日(土)

9時—17時30分

(8時30分受付開始)

参加費無料

会場(担当者)

宇都宮大学農学部

応用生命化学科(二瓶)

なんとなくわかる，
分子が立体的であること

「くすりのような化合物」をつくり、「酵素」を使って，その効き目を調べる。本企画は，そのような実験中心型のプログラムになっています。

「くすりのような化合物」は，当研究室で開発した有機化合物の一つです。皆さん自身で，その化学合成のやり方を体験してもらいます。「酵素」としては，チロシナーゼを使います。日焼けなどで肌が褐色になるときに，この酵素が働きます。このように本企画は，農学だけでなく，薬学，理学もしくは工学に興味がある方にも，楽しめるものになっています。

私は今まで，昆虫の食欲を失わせる化合物，カビを変形させる化合物や細胞の色を変化させる化合物などの研究を行ってきました。本企画を通して，皆さんにもそのような生理活性物質の研究の一端を，体験していただければと思います。

お申込み・お問合せ

tokimeki@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp

028-649-5399(枇杷)

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>

7月27日(金)締切(定員20名，先着順)

